

17 陳情 第 30 号	猫の去勢・不妊手術費助成事業に関する陳情
付託委員会	福祉健康委員会
受理及び付託 年 月 日	平成 17 年 6 月 7 日受理、平成 17 年 6 月 10 日付託
陳情者	新宿区戸山 _____ _____

(要 旨)

新宿区において飼い主のない猫の去勢、手術費を全額負担してボランティアの区民に支払いをさせないでいただきたい。

(理 由)

飼い主のない猫の世話をしている区民はすべてボランティアであり、去勢、不妊の手術の際は獣医師に支払う手術代の他に、交通費、捕獲料、手間代のすべてを負担している。年 2 回の猫の出産に応じて、私たちの会員は年間 20 匹～50 匹の手術をすべて自費で行って 20 年以上となる。

昨年からの区の助成金制度は永年待ち望んだものであったが、現行のものでは 1 匹 1 万円以上の獣医師への支払いが必要となっている。

千代田区のように助成金の全額を獣医師(会)に渡して区民の負担をなくしていただき、不用な猫の繁殖を抑える事がこの助成の目的を達する事になると思います。